

③1 高等学校 商業科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「商業科」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から82までの通し番号になっており、例えば、25番を 25 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

(マークシート記入例)

フリガナ	ユウバタロウ	教科名	商業科
名前	神戸太郎		

数字で記入……

受験番号					小問番号	解答記入欄	小問番号	解答記入欄	小問番号	解答
						1 - 25		26 - 50		51
/	2	3	4	0	1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
0	0	0	0	0	2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
0	0	0	0	0	3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
0	0	0	0	0	4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
0	0	0	0	0	5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
0	0	0	0	0	6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
0	0	0	0	0	7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
0	0	0	0	0	8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
0	0	0	0	0	9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
0	0	0	0	0	10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
0	0	0	0	0	11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0

【1】 次の語句は、『第二次世界大戦から現在までの大きな経済変化』について書かれたものである。それぞれの経済の状況を象徴するできごととして適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(1) 戦後復興期

- ① インフレーション ② 財閥解体 ③ 三種の神器 ④ 経済民主化政策 ⑤ 農地改革

1

(2) 高度経済成長期

- ① 国民所得倍增計画 ② 大量生産・大量消費 ③ 市場生産方式 ④ 朝鮮戦争 ⑤ 3C

2

(3) 安定成長期

- ① プラザ合意 ② 技術革新 ③ 組立加工産業の発展 ④ オートメーション化 ⑤ 石油危機

3

(4) バブル景気

- ① 傾斜生産方式 ② 消費の過熱 ③ 金融引き締め政策 ④ ベルリンの壁崩壊 ⑤ 地価高騰

4

(5) 失われた10年

- ① デフレーション ② 阪神淡路大震災 ③ 円高 ④ 能力主義への移行 ⑤ 生産の空洞化

5

(6) 今日の経済

- ① 東日本大震災 ② 特需景気 ③ インフラ整備 ④ 海外生産比率の増加 ⑤ 少子高齢社会

6

【2】 次の文は、『マーケティングの発展』に欠かせない人物が述べた言葉や理論、学説の概略である。最も関連のある人物を①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (1) 企業を経営することは種々の欲望や目標の間にバランスを取ることであり、多面的な8項目（マーケティング・技術革新・人間組織・財務的資源・物的資源・生産性・社会的責任・利益的必要条件）の経営目標が必要である。
- (2) 商品・サービスとは、ニーズやウォンツを満たすために市場に提供される全てのモノである。
- (3) 家計所得の上昇は、所得に対する食料費支出比率を低下させる。
- (4) 欲求の段階をピラミッドで表し、生理的欲求→安全の欲求→所属と愛の欲求→承認の欲求→自己実現の欲求へと発展する。人間は低次の欲求が満たされてはじめて、高次の欲求を満たそうとする。
- (5) 消費者の4つの権利に加え、新たに「消費者教育を受ける権利」を追加した。

- ① コトラー ② ジョンソン ③ ケネディ ④ ドラッグー ⑤ エンゲル
 ⑥ フォード ⑦ マズロー ⑧フロイト ⑨ サミュエルソン ⑩ フリードマン

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
7	8	9	10	11

【3】 次の問いに答えよ。

- (1) マーケティングの環境分析の代表的な手段としてSWOT分析がある。それぞれのアルファベットの頭文字の意味として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 機会 ② 強み ③ 弱み ④ 販売 ⑤ 脅威

12

- (2) 母集団となる消費者に通し番号をつけて、乱数表やくじ引きで任意の数字を選び、3番、13番、23番…といったように等間隔で標本を抽出する方法を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 割当抽出法 ② 便宜的抽出法 ③ 判断抽出法 ④ 単純任意抽出法 ⑤ 系統的抽出法

13

【4】 次の文は、『法律用語』の説明である。どの用語を説明したものか、適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (1) 売り主は代金の支払いがあるまで財産権を移転しなくてもよく、買い主は財産権の移転があるまで代金を支払わなくてよい。
- (2) 野生の鳥や魚をとったり、捨ててある物を拾った場合など、所有権のない動産を占有したものはその所有権を取得する。
- (3) 債権者が主たる債務者に催告したあとでも、保証人は、債務者には強制執行しやすい財産がある、ということを証明して、まず債務者の財産に対して強制執行せよ、と債権者に主張することができる。
- (4) 債務の内容が、債務者でなくてもできる行為の場合には、債務者に費用を出させて、その行為を第三者に行わせる方法。
- (5) 加害者の故意または過失にもとづく違法行為と、被害者に生じた損害との間に、「あれのせいでこうなった」という原因・結果の関係を被害者側が立証しなければならない。
- (6) 債権者が、自分の債権の弁済を確保するために、債務者が債権者を害することを知りながら行った財産減少の行為を裁判所に訴えて取り消すことができる権利。

- ① 詐害行為取消権 ② 催告の抗弁権 ③ 検索の抗弁権 ④ 同時履行の抗弁権 ⑤ 間接強制
- ⑥ 代替執行 ⑦ 遺失物取得 ⑧ 無主物の帰属 ⑨ 挙証責任 ⑩ 説明責任

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
14	15	16	17	18	19

【5】 次の文は、『財産権』について書かれたものである。どの権利を説明したものか、適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (1) A所有の土地と家屋は、囲繞地にあり、公道へ出ることができない。そこでAは、Bの土地を通行して公道へ出るようにしている。
- (2) 狭義には特許権、実用新案権、意匠権、商標権を意味するが、国際的には広く、さらに商号、原産地表示、原産地名称、不正競争の防止に関する保護権をも含む。
- (3) 家電販売店Aが、Bから家電品の修理を頼まれた場合に、Bが代金を支払うまで、修理した家電品は返さなくてよい。
- (4) 企業が倒産し、多額の債権をもつ債権者が多数いる場合に、各債権者の債権額に比例して分配をうけるとすると、従業員のもっている給料債権では、わずかし分配されなくなる。民法では、従業員の給料や日用品の供給など特定債権を他の債権に優先して弁済が受けられるようにしている。
- (5) Aは先日、自転車を盗まれた。偶然、その自転車を運転しているBを発見したが、力づくで自転車を取り返すこと（自力救済）は禁止されている。

- ① 地上権 ② 抵当権 ③ 地役権 ④ 入会権 ⑤ 占有権
- ⑥ 独占権 ⑦ 留置権 ⑧ 先取特権 ⑨ 工業所有権 ⑩ 永小作権

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
20	21	22	23	24

【6】 次の問いに答えよ。

(1) \$100,000は、円でいくらか、①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、\$1=¥126とする。

- ① ¥12,600,000 ② ¥1,260,000 ③ ¥126,000 ④ ¥794,000 ⑤ ¥794

25

(2) 仕入原価¥200,000の商品に仕入原価の32%の利益を見込んで定価をつけたが、商品が流行遅れとなったため、定価の30%引きで販売した。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 利益率 2.0% ② 利益率 5.6% ③ 損失率 7.6% ④ 損失率 2.0%
⑤ 損失率 5.6%

26

(3) 売主から4%、買主から5%の手数料を受け取る約束で商品売買の仲介を行った。仲立人の手数料合計が¥770,400の時、商品売買の金額はいくらになるか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ¥8,560,000 ② ¥8,217,600 ③ ¥7,789,600 ④ ¥342,400 ⑤ ¥428,000

27

(4) 元金¥300,000を年利率7%、1年1期で3年間金融機関に預金した時の複利終価を①～⑤から選び、番号で答えよ。(円未満は4捨5入)

- ① ¥363,000 ② ¥367,512 ③ ¥367,500 ④ ¥67,513 ⑤ ¥367,513

28

(5) 次の資料をみて、商品回転率と年間標準在庫高(売価)を計算し、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、平均商品棚卸高(原価)は、期首商品棚卸高と期末商品棚卸高の平均高とする。

(資 料)

年間売上原価 7,200万円 期首商品棚卸高 280万円 期末商品棚卸高 320万円
年間目標売上高 9,600万円

(ア) 商品回転率

- ① 6回転 ② 12回転 ③ 24回転 ④ 36回転 ⑤ 48回転

29

(イ) 年間標準在庫高(売価)

- ① 200万円 ② 300万円 ③ 400万円 ④ 600万円 ⑤ 800万円

30

【7】 次の資料をみて、下の問いに答えよ。

(資料)

元帳勘定残高

繰越商品 ¥1,380,000 仕 入 ¥6,240,000 売 上 ¥7,996,250

決算整理事項

期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 2,000個 原 価 @ ¥650

実地棚卸数量 1,900個 正味売却価額 @ ¥630

- ただし、
- i 棚卸減耗のうち60個は原価性があり、残りは原価性がない。
 - ii 原価性がある棚卸減耗費は売上原価の内訳科目とし、原価性がない棚卸減耗費は営業外費用とする。
 - iii 正味売却価額の下落による商品評価損は、売上原価の内訳科目とする。

(1) 資料における「正味売却価額」とは、() の販売によって回収できる金額を表し、この価額と取得原価の差が商品評価損である。 にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 当座資産 ② 棚卸資産 ③ その他の流動資産 ④ 有形固定資産 ⑤ 投資その他の資産

(2) 損益計算書に記載する「期末商品棚卸高」はいくらか。①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① ¥1,197,000 ② ¥1,235,000 ③ ¥1,260,000 ④ ¥1,274,000 ⑤ ¥1,300,000 ⑥ ¥1,380,000

(3) 損益計算書に記載する売上総利益はいくらか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ¥1,573,250 ② ¥1,599,250 ③ ¥1,676,250 ④ ¥1,753,250 ⑤ ¥1,756,250

(4) 売上原価率は何パーセントとなるか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 78.0% ② 78.1% ③ 79.0% ④ 80.0% ⑤ 80.3%

(5) 貸借対照表に記載する「商品」はいくらか。①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① ¥1,197,000 ② ¥1,235,000 ③ ¥1,260,000 ④ ¥1,274,000 ⑤ ¥1,300,000 ⑥ ¥1,380,000

【8】 次の問いに答えよ。

(1) 償還日に額面金額で償還する方法をなんといいか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 満期償還 ② 当日償還 ③ 営業償還 ④ 抽せん償還 ⑤ 額面償還

36

(2) 次の条件で発行している社債のうち¥40,000,000を発行後4年目の初頭に¥100につき¥98.50で買入償還した場合の社債償還益は、¥00,000となる。なお、社債は償却原価法（定額法）により評価している。にあてはまる数字をマークシートの①～⑥から選び、番号で答えよ。

発行条件

額面総額：¥50,000,000 払込金額：¥100につき¥98.40 年利率：2.3% 償還期限：8年

37

(3) 売上高の計上は、実現主義にもとづく（）基準によることが原則である。にあてはまる適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 営業循環 ② 回収 ③ 現金 ④ 発生 ⑤ 販売 ⑥ 保守

38

(4) 割賦販売の場合、その代金回収期間が長いことや貸し倒れになる危険も多いことなどにより、例外として現金主義にもとづく（）基準によることも認められている。にあてはまる適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 1年 ② 回収 ③ 現金 ④ 発生 ⑤ 販売 ⑥ 保守

39

(5) 基準を採用し、売価¥200,000（売上高総利益率40%）の商品を10か月の均等分割払いの契約で販売し、第4回の割賦金の入金後、決算をむかえた。売上総利益は¥2,000であり、期末商品棚卸高（原価）は¥2,000である。、にあてはまる数字をマークシートの①～⑥から選び、番号で答えよ。

40

41

(6) 会社法令によれば、株式会社が繰越利益剰余金の配当をする場合は、その配当額の分の1に相当する額を、準備金の額が資本金の分の1に達するまで利益準備金勘定に計上しなければならない。、にあてはまる適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 2 ② 4 ③ 6 ④ 8 ⑤ 10 ⑥ 12

- ① 2 ② 4 ③ 6 ④ 8 ⑤ 10 ⑥ 12

42

43

(7) 繰越利益剰余金を下記のとおり配当および処分することを株主総会で決議した。ただし、資本金の額は ¥10,000,000、資本準備金と利益準備金の合計額は ¥2,430,000 であったとすると、計上する利益準備金はいくらになるか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

利益準備金 会社法令に規定する額 配当金 ¥1,000,000 別途積立金 ¥650,000

- ① ¥70,000 ② ¥100,000 ③ ¥165,000 ④ ¥125,000 ⑤ ¥250,000

44

(8) 下記の貸借対照表と損益計算書から財務諸表分析を行い、45～48 にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。

貸借対照表				損益計算書			
現金預金	335,900	支払手形	324,000	売上高			4,620,000
受取手形	340,000	買掛金	319,200	売上原価			2,171,400
売掛金	380,000	短期借入金	414,000	×××利益			2,448,600
有価証券	83,000	未払法人税等	124,800	販売費及び一般管理費			1,570,680
商品	284,000	社債	480,000	×××利益			877,920
備品	323,500	長期借入金	408,000	営業外収益			25,200
建物	576,600	退職給付引当金	18,000	営業外費用			207,120
土地	1,678,000	資本金	456,000	×××利益			696,000
建設仮勘定	1,200,000	資本剰余金	624,000	特別利益			3,900
のれん	300,000	利益剰余金	2,832,000	特別損失			48,000
投資有価証券	499,000			×××利益			651,900
	<u>6,000,000</u>		<u>6,000,000</u>	法人税・住民税及び事業税			259,200
				×××利益			<u>392,700</u>

財務諸表の分析結果

収益性の分析		安全性の分析	
総資本経常利益率	45 1.6%	自己資本比率	6 47 .2%
売上高純利益率	46 .5%	固定長期適合率	48 5.0%

45 46 47 48

【9】 次の問いに答えよ。

(1) 総合原価計算には種類や生産形態の違いによって次のような計算方法がある。()にあてはまる適切なものを①～⑦から選び、番号で答えよ。

(ア) 種類の異なる製品を (49) に連続して生産する食品工業・機械製造業などに適用される (49) 総合原価計算。

- ① 組別 ② 工程別 ③ 個別 ④ 単純 ⑤ 直接 ⑥ 等級別 ⑦ 標準

49

(イ) 同じ製造工程から種類は同じであるが大きさや重さ・品質などが異なる製品を連続して生産する衣料品製造業、醸造業などに適用される (50) 総合原価計算。

- ① 組別 ② 工程別 ③ 個別 ④ 単純 ⑤ 直接 ⑥ 等級別 ⑦ 標準

50

(ウ) 例えばパン工場のように、仕込み→成形→焼成→仕上げ→包装のように各作業を経て製品が製造される場合、その作業ごとに原価を計算する方法で、パン工場のほかに、自動車製造業、化学工業などで適用される (51) 総合原価計算。

- ① 組別 ② 工程別 ③ 個別 ④ 単純 ⑤ 直接 ⑥ 等級別 ⑦ 標準

51

(2) ○○製作所は、**49** 総合原価計算を採用し、甲製品と乙製品を製造している。

52～**55** にあてはまる数字をマークシートの①～④から選び、番号で答えよ。

- ただし、
- i 間接費は直接労務費を基準として配賦する。
 - ii 素材は製造着手の時にすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
 - iii 月末仕掛品原価の計算は、両製品とも平均法による。
 - iv 甲製品の製造工程の途中で正常減損が発生した。正常減損費は完成品と月末仕掛品の両方に負担させる。
 - v 乙製品の製造工程の終点で仕損じが発生した。正常仕損費は完成品に負担させる。仕損品の評価額¥12,640は、完成品原価から差し引くこととした。

資 料

・ 当月製造費用

	甲 直接費	乙 直接費	間 接 費
材 料 費	¥1,050,000	¥1,210,040	¥179,600
労 務 費	¥240,600	¥160,400	¥143,000
経 費	¥539,200	¥412,000	¥115,500

・ 月初仕掛品原価

	甲	乙
素 材 費	¥120,000	¥143,200
加 工 費	¥147,340	¥109,860

・ 生産データ ※ () 内は加工進捗度をあらわす。

	甲		乙	
月初仕掛品	600 個	(40%)	400 個	(20%)
当月投入	4,000 個		3,380 個	
合 計	4,600 個		3,780 個	
月末仕掛品	500 個	(50%)	700 個	(50%)
差 引	4,100 個		3,080 個	
正常減損	100 個		— 個	
正常仕損	— 個		80 個	
完成品	4,000 個		3,000 個	

甲 間接費配賦額 ¥262, **52**60 乙 月末仕掛品原価 ¥ **54**38,100
 甲 完成品原価 ¥ **53**,160,000 乙 完成品単価 ¥ **55**20

52	53	54	55
----	----	----	----

【10】 次の(1)～(5)の説明文について、a・bともに正しい場合は①、aが正しくbが誤りの場合は②、aが誤りでbが正しい場合は③、a・bともに誤りの場合は④と番号で答えよ。

(1)

- a ディスクキャッシュは、主記憶装置とハードディスクの間におかれ、それぞれのアクセス時間の差を補うための記憶装置で、半導体メモリを使用する場合と、主記憶装置の一部を使用する場合がある。
- b フラッシュメモリは、不揮発型の半導体メモリを使った補助記憶装置である。SDメモリカードやUSBメモリなど様々な形状のものがある。

56

(2)

- a 電子メールを送受信するには、電子メール用のプロトコルが利用される。電子メールを送信者から受信者のメールサーバへ転送するプロトコルをPOP3という。
- b 指定されたドメイン名を、通信に必要なIPアドレスに変換する仕組みをDHCPという。

57

(3)

- a ソフトウェアの不具合や設計上のミスによって、ネットワークが不正に利用され、危険にさらされる場合がある。このソフトウェアの不具合や設計上のミスなどによるセキュリティ上の問題点や欠陥などをセキュリティホールという。
- b アドウェアは、情報の改ざん・破壊だけではなく情報収集を目的としたマルウェア（悪意のあるプログラムの総称）の一つである。

58

(4)

- a 物品の形状、構造又は組み合わせに関する考案を一定期間独占的に利用できる権利を意匠権という。
- b 工業製品などにおいて、形状や模様、色彩などの組み合わせによって、視覚的な美感を起こさせるデザインを一定期間独占的に利用できる権利を実用新案権という。

59

(5)

- a 集団でアイデアを出し合うことによって、相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法であるKJ法は、「批判厳禁」「自由奔放」「質より量」「結合・便乗」の4つのルールによって行われる。
- b 問題解決手法の一つであるバズセッションは、少人数のグループにより非公式な討議を行い、意見を収集する方法である。参加者全員を5～8人程度の小グループに分け、リーダーと記録担当を決める。テーマにもとづき、10分程度の議論を行い、見解をまとめたのち、リーダーがグループの見解を発表する。

60

【11】 次の基数変換に関する計算問題の解答として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、[]の数字は基数を意味する。例) [2]・・・2進数

(1) $10_{[10]} \times 1110_{[2]} = (\quad)_{[16]}$

- ① 89 ② 8A ③ 8B ④ 8C ⑤ 8D

61

(2) $A_{[16]} + 12_{[8]} = (\quad)_{[10]}$

- ① 12 ② 20 ③ 24 ④ 36 ⑤ 40

62

(3) $200_{[3]} + 15_{[10]} = (\quad)_{[2]}$

- ① 110101 ② 110000 ③ 101101 ④ 101010 ⑤ 100001

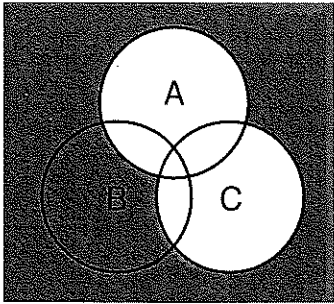
63

【12】 次の問いに答えよ。

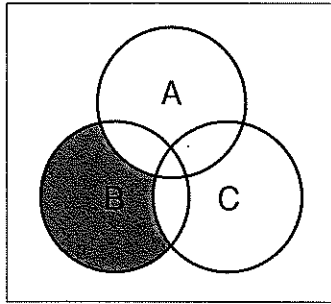
(1) 次の論理演算式をベン図で表したものとして適切なものを①～⑥から選び、番号で答えよ。

$$(A+B+C) \cdot \bar{A} \cdot \bar{C}$$

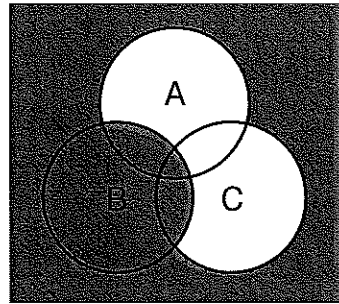
①



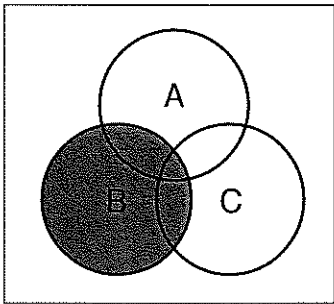
②



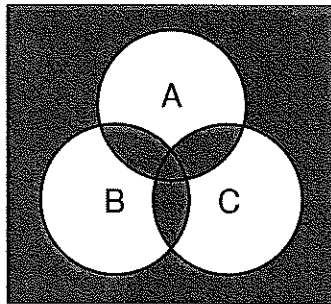
③



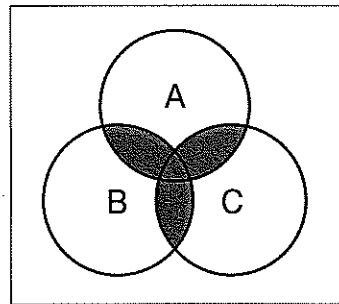
④



⑤



⑥



64

(2) 次の仕様の通信回線を利用した場合のデータ転送時間(秒)を①～⑤から選び、番号で答えよ。

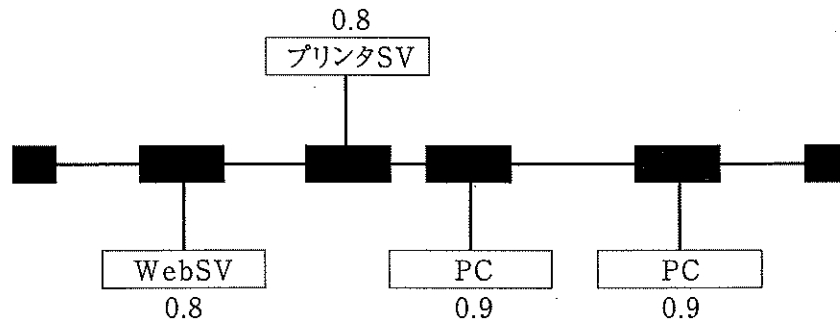
[仕様]

- 通信速度4,800bps
- 調歩同期方式 (スタート信号1ビット長 ストップ信号1ビット長)
- データはパリティビットなしの8単位符号
- 転送データ240文字

① 5 ② 4 ③ 2 ④ 0.5 ⑤ 0.4

65

- (3) 下図のようなネットワークシステムがある。このシステム全体の稼働率を求める計算式を①～⑤から選び、番号で答えよ。ただし、PCは1台が起動していればシステム全体として稼働する。



- ① $0.8^2 \times 0.9^2$ ② $(1 - 0.8^2) \times 0.9^2$ ③ $0.8^2 \times (1 - (1 - 0.9)^2)$
 ④ $(1 - 0.8^2) \times (1 - 0.9^2)$ ⑤ $0.9^2 \times (1 - (1 - 0.8)^2)$

66

- (4) 次の商品別売上高一覧表によってABC分析をおこない、販売促進の対象となるA群の商品点数を①～⑤から選び、番号で答えよ。なお、A群は70%を目安とする。

商品別売上高一覧表

(単位：万円)

商品1	商品2	商品3	商品4	商品5	商品6	商品7	商品8	商品9
124	29	78	51	68	223	89	364	45

- ① 3 ② 4 ③ 5 ④ 6 ⑤ 7

67

【13】 擬似言語プログラムに関する次の仕様説明を読んで、下の問いに答えよ。

[擬似言語プログラムに共通する宣言、注釈および処理に関する説明]

記述形式	説明
○	手続き、変数などの名前、型などを宣言する。
/* 文 */	文に注釈を記述する。
・変数 ← 文 ・手続 (引数, . . .)	変数に式の値を代入する。 手続きを呼び出し、引数を受け渡す。
↑ 条件式 ↓ 処理	単岐選択処理を示す。 条件式が真のときは処理を実行する。
↑ 条件式 処理 1 ↓ 処理 2	双岐選択処理を示す。 条件式が真のときは処理 1 を実行し、偽のときは処理 2 を実行する。
↑ 条件式 ↓ 処理	前判定繰返し処理を示す。 条件式が真のときは処理を繰返し実行する。
↑ 変数：初期値, 条件式, 増分 ↓ 処理	繰返し処理を示す。 開始時点で変数に初期値 (式で与えられる) が格納され、条件式が真の間、処理を繰返す。また、繰返すごとに、変数に増分 (式で与えられる) を加える。

[擬似言語プログラムに共通する演算子と優先順位に関する説明]

演算の種類	演算子	優先順位
単項演算	+, -, not	高 ↑ ↓ 低
乗除演算	×, ÷, %	
加減演算	+, -	
関係演算	>, <, ≥, ≤, =, ≠	
論理積	and	
論理和	or	

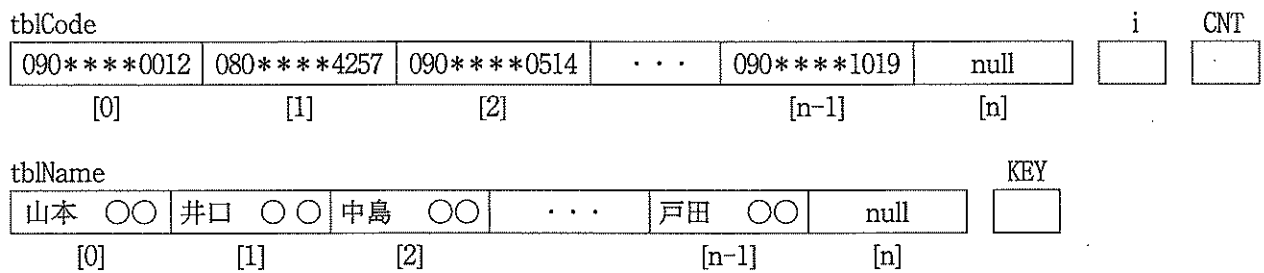
(注) 整数同士の除算では、整数の商を結果として返す。%演算子は剰余算を表す。

このプログラムは、キーボードから入力した電話番号で配列を線形探索して、該当する名前を出力するものである。処理条件にしたがって [68] ~ [74] にあてはまる適切な答えを①~④から選び、番号で答えよ。(なお、[68], [71], [73] は語群アより、[69], [70] は語群イより、[72], [74] は語群ウより選ぶこと。)

[処理条件]

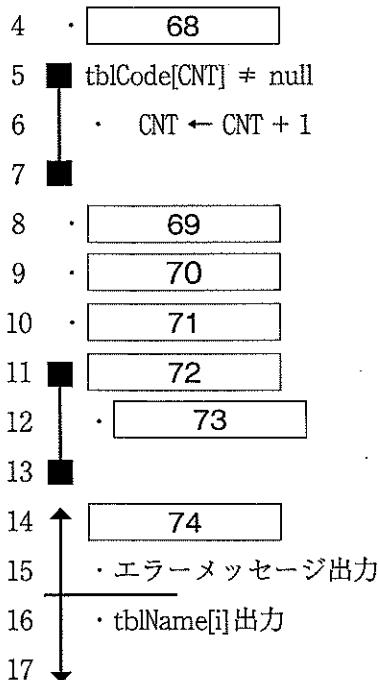
- (1) キーボードから入力した電話番号は、変数KEYに格納される。
- (2) 配列 tblCode には電話番号、配列 tblName には名前が格納されている。
- (3) 配列 tblCode と配列 tblName の末尾には null 値が格納されており、電話番号や名前が格納されている要素数は分からない。
- (4) 配列 tblCode と配列 tblName は、添字によって対応している。
- (5) KEY 値と同じ値を配列 tblCode から検索する。
- (6) 配列 tblCode から検索した電話番号に対応する名前を、配列 tblName から求める。
- (7) 該当する電話番号がない場合は、エラーメッセージを出力する。

[メモリマップ]



[プログラム]

- 1 ○ 整数型 : i, CNT
- 2 ○ 文字型 : KEY
- 3 ○ 文字型 : tblCode[], tblName[] /* 添字は0から始まる */



語群ア (68 71 73)

- ① $i \leftarrow 0$
- ② $i \leftarrow 1$
- ③ $i \leftarrow i - 1$
- ④ $i \leftarrow i + 1$
- ⑤ $KEY \leftarrow \text{コンソール入力}$
- ⑥ $\text{tblCode}[i] \leftarrow \text{コンソール入力}$
- ⑦ $CNT \leftarrow CNT - 1$
- ⑧ $CNT \leftarrow CNT + 1$
- ⑨ $CNT \leftarrow 1$
- ⑩ $CNT \leftarrow 0$

語群イ (69 70)

- ① $KEY \leftarrow \text{コンソール入力}$
- ② $KEY \leftarrow \text{tblCode}[CNT+1]$
- ③ $KEY \leftarrow \text{tblCode}[CNT]$
- ④ $KEY \leftarrow \text{tblCode}[CNT-1]$
- ⑤ $\text{tblCode}[i] \leftarrow \text{コンソール入力}$
- ⑥ $KEY \leftarrow \text{tblCode}[i]$
- ⑦ $\text{tblCode}[CNT+1] \leftarrow KEY$
- ⑧ $\text{tblCode}[CNT] \leftarrow KEY$
- ⑨ $\text{tblCode}[CNT-1] \leftarrow KEY$
- ⑩ $\text{tblCode}[KEY] \leftarrow \text{コンソール入力}$

語群ウ (72 74)

- ① $i = 0$
- ② $i = 1$
- ③ $i = \text{tblCode}[CNT]$
- ④ $i = CNT$
- ⑤ $i = KEY$
- ⑥ $KEY \neq \text{tblCode}[i]$
- ⑦ $KEY = \text{tblCode}[i]$
- ⑧ $KEY \neq \text{tblName}[i]$
- ⑨ $KEY = \text{tblName}[i]$
- ⑩ $i \neq \text{tblCode}[CNT]$

68	69	70	71	72	73	74
----	----	----	----	----	----	----

【14】神戸市立のある高等学校では、オープンハイスクールにおける部活動体験入部の希望について、次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理をしている。次の問いに答えよ。

[処理の概要]

- 中学生は、体験入部希望調査票に必要事項を記入して申し込む。
- オープンハイスクール担当教員は、体験入部希望調査票のデータを希望表に入力し、調整をおこなったうえで中学生の体験入部する部活動を決定する。

体験入部希望調査票		生徒コード：1050
中学コード：K201		生徒名：神戸 太郎
希望	部活コード	部活名
0無・1有	CU112	ラグビー部

部活動表

部活コード	部活名	種別コード
CU101	硬式野球	S01
CU102	サッカー	S01
CU103	ソフトテニス	S01
CU104	女子ソフトボール	S01
CU105	卓球	S01
CU106	ダンス	S01
CU107	女子ハンドボール	S01
CU108	女子バスケットボール	S01
CU109	男子バスケットボール	S01
CU110	女子バレーボール	S01
CU111	男子バレーボール	S01
CU112	ラグビー	S01
CU113	陸上競技	S01
CU114	E S S	S02
CU115	O A	S02
CU116	家庭科	S02
CU117	茶華道	S02
CU118	軽音楽	S02
CU119	書道	S02
CU120	情報研究	S02
CU121	吹奏楽	S02
CU122	美術	S02
CU123	漫画研究	S03
CU124	放送	S04

生徒表

生徒コード	生徒名	中学コード
1001	中島 ○○	K217
1002	西井 ○○	K235
1003	右田 ○○	K235
}	}	}
1838	密山 ○○	K222
1839	戸田 ○○	K222
1840	細見 ○○	K222

希望表

生徒コード	部活コード
1001	CU113
1003	CU120
1050	CU112
}	}
1835	CU106
1839	CU117
1840	CU120

中学校表

中学コード	中学名
K201	本庄
K202	魚崎
}	}
K283	神出
K284	岩岡

種別表

種別コード	種別
S01	運動部
S02	文化部
S03	同好会
S04	研究会

図



(1) 図の (ア) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 部活動表 ② 生徒表 ③ 希望表 ④ 中学校表 ⑤ 種別表

75

(2) 図の (イ) にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 部活動表 ② 生徒表 ③ 希望表 ④ 中学校表 ⑤ 種別表

76

(3) 図の (ウ) にあてはまる適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 1 1 ② 1 多 ③ 多 1 ④ 多 多

77

(4) 図の (エ) のアトリビュートの数を①～⑥から選び、番号で答えよ。

- ① 2 ② 3 ③ 4 ④ 24 ⑤ 284 ⑥ 840

78

(5) 図の (エ) と (オ) のリレーションとなるフィールドを①～⑧から選び、番号で答えよ。

- ① 部活コード ② 生徒コード ③ 中学コード ④ 種別コード
⑤ 部活名 ⑥ 生徒名 ⑦ 中学名 ⑧ 種別

79

【15】 次の問いに答えよ。

- (1) 神戸市内のある宿泊施設では、宴会場のテーブルの計算に次の表を用いている。B列の予約人数に対してテーブルの過不足がないように、D列に必要な「テーブル数」を求める。セル番地D2の値を求めるための適切な関数を①～⑧から選び、番号で答えよ。

D2 = (B2,C2)/C2

宴会場テーブル計算表

	A	B	C	D
1	会場名	予約人数	最大着席人数/1テーブル	必要数
2	鳳凰の間	470	8	59
3	飛天の間	175	6	30
4	牡丹の間	68	5	14

- ① ABS ② CEILING ③ FIXED ④ FLOOR
 ⑤ INT ⑥ LEN ⑦ ROUNDUP ⑧ SUBTOTAL

80

- (2) 神戸市内のある学校では、在籍生徒の検索に次の表を用いている。セル番地A2に学籍番号を入力すると、生徒一覧表を検索してセル番地B2に生徒名を表示する。学籍番号が見つからなかった場合は「入力値error」と表示する。セル番地B2の値を求めるための適切な関数を①～⑧から選び、番号で答えよ。

B2 = ((注) 出題の都合上非表示 (A2,A7:B966,2,0),"入力値error")

	A	B
1	学籍番号	生徒名
2	1011	入力値error
3		
4		
5	生徒一覧表	
6	学籍番号	生徒名
7	1101	安藤 ●●
8	1102	石田 ●●
9	}	}
965	3839	吉岡 ●●
966	3840	渡邊 ●●

- ① ABS ② CEILING
 ③ COUNTIF ④ HLOOKUP
 ⑤ IF ⑥ IFERROR
 ⑦ ISERROR ⑧ VLOOKUP

81

(3) 神戸市内のある企業では、社員の残業時間の計算に、次の表を用いている。セル番地D4の値を求めるための適切な関数を①～⑧から選び、番号で答えよ。

D4 = IF (\$B\$1<C4, (\$B\$1-C4), "")

	A	B	C	D
1	退勤定刻		17:00	
2				
3	社員コード	社員名	退勤時間	残業時間
4	198701	丹羽 ●●	17:00	
5	198703	井口 ●●	19:30	2時30分
6	198805	川西 ●●		
7	}	}	}	}
197	201606	森蔭 ●●	16:00	
198	201607	小野 ●●	21:00	4時00分
199				

- ① ABS ② CEILING ③ COUNTIF ④ COUNTIFS
 ⑤ DCOUNT ⑥ FREQUENCY ⑦ INDEX ⑧ PV